

時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2024年 ねん 秋号 あきごう



## 「ゆびかぞく」

はしもと えつよ/作・絵 (ニコモ)

ぼくのゆびは、とってもなかよし5人家族。おとうさん、おあさん、おにいさん、おねえさん、あかちゃんの5人は、いつもいっしょ。おや！おにいさんのかおに、おえかきのよごれがついている。おねえさんは、ばんそうこうのようぶくをきいているよ。あれれ？おとうさんはどこに行っちゃったのかな？みんなでさがしてみたら…。

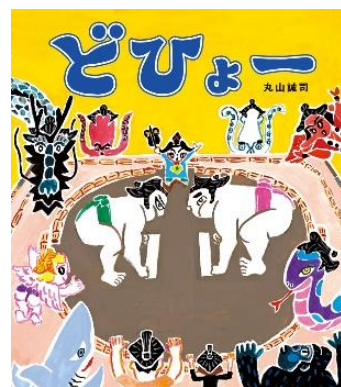
とってもすてきなゆびかぞく。みんなのゆびかぞくはどんなおはなししているかな？

## うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



## 「どひょー」

丸山 誠司/作 (絵本館)

ある日、「どひょー」がいなくなっちゃった！おすもうさんたちは、びっくりぎょうてん。

なんと「どひょー」は、うみのなかにいました。そこへさかなたちがあつまってきた。すもうをとりはじめました。たこといかのしょうぶ、どちらがかつのかな？

つぎに「どひょー」が、やまにのぼると…。



## 「もりのかくれんぼう」

末吉 暁子/作 林 明子/絵 (偕成社)

公園でお兄ちゃんと遊んだ帰り道、けいこが近道をしようと生垣をくぐると、見たこともない大きな森の入口に立っていました。やがて、枝や木の葉と同じ色をした男の子「もりのかくれんぼう」があらわれて…。森の中には、たくさんの動物がかくれていますよ。みんなも一緒にみつけてみよう！



## 「ぼうやはどこ？」

アン・ハンター/さく 橋本 あゆみ/やく (化学同人)

ある日のこと、きつねのパパがふと気がつくと、ぼうやがいません！ママに聞いてもわかりません。パパは、ぼうやをさがしにでかけました。まるたのなかにも、水のなかにもぼうやはいません。見つかるのは、ほかの動物ばかり…。おーい！ぼうや。どこにいるの？

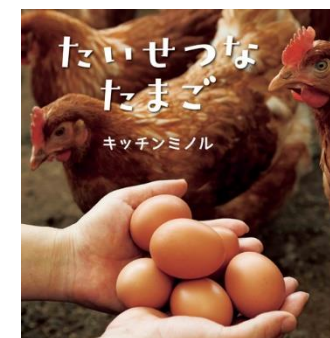
何度も繰り返して読みたくなる、とってもかわいらしい絵本です。



## 「かんでんちとうちゃん」

チョン スンベ/作 カン インスク/作 鈴木 沙織/訳 (化学同人)

かんでんちとうちゃんは、おもちゃのきょうりゅうを動かしたり、げんかんのかぎをしめたりと毎日大いそがしです。ある日、キャンプにでかけたトングとパパが大雨にあって大ピンチに！そんなときも、かんでんちとうちゃんは懐中電灯の中で頑張っています。やっこのことでピンチを乗り越え、家にかえると…。



## 「たいせつなたまご」

キッチンミノル/著 (白泉社)

みんなが大好きなたまご。たまごを生むのは、にわとり。にわとりは、一日にひとつしかたまごを生まないのを知っていますか？

そんな、大切なたまごを生むにわとりを、大切にお世話をしている人たちがいます。みんなの食卓にたまごが届くまでを、分かりやすく追った写真絵本。

ときつちょうりつときつとしょかん  
発行：時津町立時津図書館